

議 事 録	
会 議 名	令和 7 年第 2 回江南警察署協議会(定例会)
日時・場所	令和 7 年 7 月 9 日(水)午前 10 時から午前 11 時 20 分までの間 江南警察署 講堂
出席者	1 委員 7 名(定数 10 名) 森田 美奈会長 間野 光宏副会長 松田 光寿委員 村瀬 秀子委員 和田 由美委員 中島 正資委員 松岡 景子委員
	2 警察署員 9 名 鈴木署長 落合副署長 服部警務課長 大谷会計課長 土屋生活安全課長 兵頭地域課長 眞砂刑事課長 山下交通課長 森下警備課長
	3 有識者等 ない
1 会長挨拶 2 署長挨拶 3 報告内容 (1) 管内の治安情勢 (2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況 ア 前回の協議事項 地域に対する交番の役割 イ 前回の意見・要望 ・ 巡回連絡を通じて地域の要望を把握し警察活動に生かしてもらいたい。 ・ 様々なメディア(媒体)により情報を届けてもらいたい。 ・ 子供やお年寄りに対する見守り活動を行ってもらいたい。 ウ 施策推進状況 ・ 巡回連絡を通じて地域住民が真に要望する事項を把握し、その要望 に対してパトロールの計画を策定し実施することで、地域住民の要望 に真に応える活動を実施することができた。 ・ これまでのテレビ、新聞に加え、SNS を活用し、一部自治体の公式 LINE を活用し交番広報誌を発信し、発信力の向上を図った。	

- ・ 見守り活動では、小学校の入学式に全署体制で見守り活動を実施した。
- ・ 高齢者への対応としては、夕方の事故多発時間帯に交番前や交差点等での見守り活動を実施した。
- ・ 今後も見守り活動とパトカーの赤色灯点灯での活動を継続していく。

4 協議事項

在留外国人の安全確保対策

5 発言の要旨

- ・ 一緒に来ている家族や子供のフォローとともに、お互いが知り合う場所と話し合う機会を設ける。
- ・ 外国人の方で日本語を学ぼう、日本に寄り添おうとしている方が多くみえるので、日本人から寄り添うようにする。
- ・ 英語の通じない方も多いことから、外国語でのコミュニケーションにこだわらずに、やさしい日本語で話しかけコミュニケーションを図る。
- ・ ゴミの出し方など生活に関するトラブルには、各自治体の国際交流の窓口と連携し対話のできる場を設ける。
- ・ スマートフォンのアプリなど各種ツールを活用し、外国人との会話の突破口とする。
- ・ 先に日本に住んで見える外国人の方から日本の文化を発信してもらう機会を設ける。
- ・ 外国人の方を一律に集めるのではなく、出身国ごとに分けての働きかけを行うなど、きめ細かな対応を図る。
- ・ 地域のまとめ役である外国人コミュニティのリーダーに対しての働きかけを行う。
- ・ 日本のルールについて、イラストを活用した分かりやすい資料を作成し、日本でのルールの説明に活用する。

6 意見・要望

- ・ 警察の方から企業や職場で働いている外国人の方やその子供たちが集まるコミュニティで、日本の文化の違いやマナーなどについての出前講座の開催
- ・ 宗教や集会など外国人の地域のリーダーへ働きかけを行い、交通安全や日本の文化の意味を理解できる機会を設ける。

7 その他

- ・ 次回開催予定
9月中旬を予定